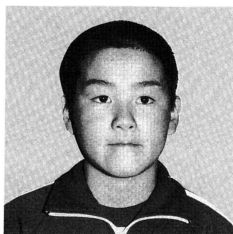




おばあちゃん その 語り



長利 圭介
(太田小・6年)

おばあちゃん からの ひとこと

圭介はおじいちゃんのこと大好きだったからでも
す。だから、おじいちゃんが行って「おじいちゃんお線香を
毎日、仏前に行って「おじいちゃんお線香を
す。おじいちゃんたたいま」と、およ
るんです。気持のやさしい子です
(タマさん・67歳)

今月の主な記事

- 村おこしの拠点施設・モデル木造施設合同落成式…2～3
- 過疎サミット・ヤングサミット開催…4～5
- 胎元岩木山神社大祭…6
- 防犯弁論大会 一祖父の思い出を胸に…7
- 市浦村長寿番付・敬老会…8～9
- 安藤物語…10
- おしらせ…11
- 健康への道 戸籍の窓…12

うちのおばあさん

うちのおばあさんは、六十五歳くらいです。以前は少しふとっていただけ、二年前、胃の手術をしてから少しやせました。でも、元気で働いています。おばあさんの仕事は、畑の草とりや庭の草とりです。仕事が終わったあとには、「わい、はらいていよ。」とが言っています。そのほか、お田さんが仕事に行ったあと、ちやわんを洗ったり、ほくちたに、「ごはんを食へさせてくれます。」

おばあさんは、春になると山菜（のり）にいきます。太田の山には山菜がたくさんあるのです。おばあさんは、みずの皮むきをしながら、「命田学校で何あったは。」

などとほくちたに聞きます。この前おじいさんがなくなつておばあさんは、とてもさみしそうです。だからほくち、学校や友だちの話をして、おばあさんをよつとほせたいと思つし、ま、畑仕事に、一生けん命手伝つて、楽をさせてやりたいと思います。

おばあさんいつもでも長生きをして元気であって下さい。

モデル木造施設 (役場庁舎) 完成

あすなるホール



大型木造施設として注目を浴びている役場庁舎は、昭和63年5月23日開庁しました。

21世紀への飛躍 合同落成式で完成祝う

村が昨年からの建設を進めてきた役場庁舎とモデル木造施設「青森あすなるホール」(市浦)、十三湖中の島公園の間育成施設が完成し、九月十七日、あすなるホールで合同落成式を行いました。

当日は午前十一時から、中の島公園で地域活性化センターの竣工式が行われ、村三役はじめ県の関係機関および工事関係者約三十人が玉串を奉輿、同センターの無事完成を祝いました。

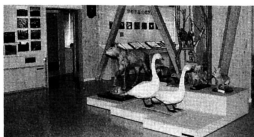
また、正午からは、あすなるホール二階の多目的ホールで式典が開かれ、村、県、工事関係者、隣接町村長ら約百七十人が出席しました。

この日は午前十一時から、中の島公園で地域活性化センターの竣工式が行われ、村三役はじめ県の関係機関および工事関係者約三十人が玉串を奉輿、同センターの無事完成を祝いました。

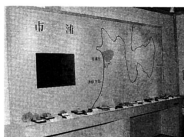
午後二時からは、会場を村コミュニティセンターに移し、祝賀会を開き、五施設の完成を祝いました。



「青森ヒバの殿堂、あすなるホールには、樹齢250年と300年のヒバの原木(19.45m)が飾り柱として立てられました。



あすなるホール・村民ギャラリーラウンジ



あすなるホール・村民ギャラリーラウンジ



あすなるホール・村民ギャラリーラウンジ



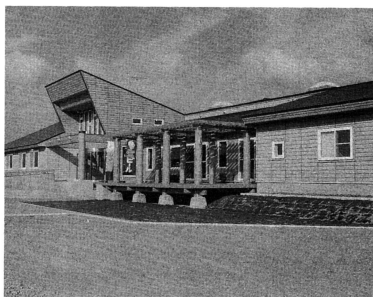
記念式典



式典出席者

村おこしの拠点

(地域活性化センター・ケビン
ハウス・あわび中間育成施設)



中の島公園 観光の拠点施設となる地域活性化センター



橋元地区に完成したあわび中間育成施設は10万個の稚貝を飼育できます。



地域活性化センター



地域活性化センターの竣工式



万歳三唱で完成を祝いました

▶松林に囲まれたケビンハウスは、総ヒバ造りで、居ながらにして星空が見られます。



'88

過疎サミット開催

新たな飛躍を求めて 地域振興の在り方探る

過疎地域の指定を受けている県内十八の過疎町村の首長が集まって、地域活性化の在り方を探る'88過疎サミットが、九月五日から一日間の日程で臨野沢村の村民体育館で開かれました。



共に連携し、活力ある地域づくりをしようと、過疎サミットが開かれました。

過疎サミットは、全国山村過疎地域振興連盟県支部の主催で昭和六十年、市浦村を皮切りに毎年一回開かれていま

す。四回目を迎える本年度は「新たななる飛躍を求めて」をテーマに掲げました。過疎地域は、定住環境の整備、地域産業おとし、さまざまなイベントの開催等、地域の主体性と特性を生かした施策を講じてきました。

しかし、過疎地域振興特別措置法が昭和六十五年三月三十一日で期限切れとなり、若年層の流出や人口の高齢化、雇用機会の不足など、いまま

お多くの課題が残されています。こうした、新たな展開の時を迎えているいま、共に連携し、活力ある地域づくりに向けてこれまで以上に知恵を絞り、これからの地域振興の在り方を探ろうというもので

す。初めに、過疎振興連盟県支部の木戸英夫過疎部会長(東郡栗田町長)と、県地方課の高尾和彦課長が、「人口の高齢化や若者の流出などによる地域の活力の低下に歯止めをかけるためには、新たな視点に立つて施策を検討する必要がある」と、あいさつをしたあと、地元の浜田昭三臨野沢村長が、歓迎のあいさつを述べました。

続いて、三日から五日まで開かれた「ヤングサミット」の参加者代表である飯田聡さん(蟹田町)と奈良岡千賀子さん(天間林村)が「地元に残って将来を模索している若者」に、勉強できる場を提供してほしい、「アイデアを實行する意欲的な人材育成の場を設けてほしい」など、若者の立場から率直な意見が寄せられました。

この後、安達生恒島根大学名誉教授が、全国の先進事例を紹介しながら基調講演。「



過疎町村の課題を語り合ったサミット



種苗センターを視察研修

地域の生産活動と結びついていないイベントは先細る一方です。地域おこしの底力にはならない。人づくりや住民が意欲的、自主的に活動できるような研修の機会や環境づくりが大切だ」とアドバイスしました。

過疎サミット二日目は、全国過疎地域振興連盟の山本好幸総務部長が「ポスト過疎法」を議員立法でつくることが出てきている」と、中央の動きや情勢を報告。各町村長からは「現行の過疎法による過疎償では、生活道路の整備や統合小・中学校、公民館、観光施設など、多大な恩恵を受けた」との実績が紹介された後、「財政力の弱い町村にとって過疎償は必要不可欠のもの。法律が期限切れとなれば地域の生死にかかわる。」など、法律失効を一年半後に控えて、危機感を募らせる声がありました。

最後に「地域活性化に向けた「臨野沢宣言」を満場一致で採択。近く中央へ陳情するなど、具体的な行動を起すことも申し合わせました。次回、過疎サミットは、東郡三飯村で開催されます。

合小・中学校、公民館、観光

脇野沢村で

ヤングサミット開催

交流による活性化の道を求めて

県内十八の過疎町村の若者代表が一堂に集う初めての「ヤングサミット」が、九月三日から九月五日までの三日間、下北郡脇野沢村リフレッシュセンター「鱈(たら)の里」で開かれました。



地域間の連帯を深めようと開かれたヤングサミット

「ヤングサミット」は、県内十八の過疎町村の首長が集まって、五日から開かれる「過疎サミット」に先立ち、若者の立場から地域の振興策を煮詰めて提言、若者同志のネットワークを広げようという「交流による活性化の道」を求めて、テーマに開かれました。

三日の開会式では、実行委員長の吉田博さん、東部蟹田町産業経済課長が「自然や資源が豊富で過疎地の良さも残されている。集まった一人一人が本音で語り合い、地域活性化への新しい息吹を探ろう」と、あいさつ。オリエンテーションやリフレッシュセンターの千船昭司所長の講話がありました。

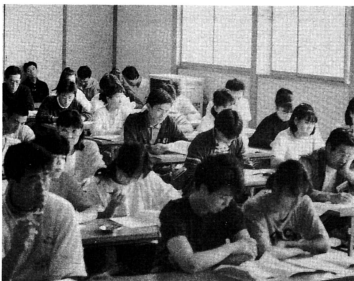


ふれあい漁業体験では定置網おこしに力を結集しました

二日目は、脇野沢村の産業施設や景勝地を視察見学したあと、保養センターに集合、ヤングサミットトークが行われました。

サミットトークでは、各町村代表から祭りやイベントの取り組み、青年活動の現状が報告され、共通の悩みを解決するため地域間の連帯を深めることを確認しました。

続いて、参加者たちは各班に分かれて「芋田前沖」での定置網おこしに挑み、慣れない手つきで触れ合い漁業体験や調理体験をし、とった魚を食べながら「若者の就労の場が不足」「若者の流出で地域の活力が低下している」などの現状や、日ごろの悩みを語り合いました。



県内18の過疎町村から集まった若者たちは、地域で抱える課題を出し合い、解決策について意見交換しました。



本村からの参加は左から竹谷・奈良・成田さん



鱈(たら)の里でオリエンテーション

もうひとつのお山参詣

脇元岩木山神社例大祭

まつり最高潮
近年にない賑わい



洗磯崎神社から出発するお山参詣



笛、太鼓も上手になりました



児童による小馬踊り



小馬踊りも疲れるナァ...



保育所園児も初参加



野外ステージでは芸能発表会

五穀豊饒と家内安全を願う、脇元岩木山神社大祭「お山参詣」が、九月十一、十二の両日(毎年旧暦八月一日)にぎやかに行われました。

岩木山神社のある「霧山」の頂上には、岩木山神社大祭実行委員会を囲むの手によって、「提灯」や「明りがともされ、祭りムードはこれまでになく最高潮に達しました。

十日の前夜祭には恒例のカラオケ大会が行われ、青森市

や五所川原市などからも訪れて、自慢のノドを披露していました。

十一日の「お山参詣」には日曜日と重ったこともあり、隣接町村からものほりやご幣をかざした参拝者が訪れ、豊作を願う「サイギ、サイギ、ドッコイサイギ……」のかけ声が、霧山にこだましていました。

この日は、青空が広がる最高の祭り日和に恵まれ、地元

小学校の児童や小馬踊り保存会の会員らが、小馬踊りで村内を練り歩きました。

洗磯崎神社では神事のおと午前十時半から実りの秋と家内安全を願う奉告祭が行われたあと、約二キロ離れた「霧山」をめざしました。

お山参詣には、洗磯崎神社氏子青年会のメンバーや老人クラブ、婦人会、小学校児童らのほかに、今年は脇元保育園の園児十四人も、小馬踊りと、そこのはんてんで初参加、祭りを盛り上げました。

早過ぎからは、野外ステージで恒例の民謡ショウや郷土芸能大会などが練り広げられ、終日にきわいを見せていました。



今年の例大祭は好天に恵まれ、参拝後の芸能発表会は約500人の聴衆で賑わいました。



防犯弁論大会で第一位となった

相澤公美さん
(市浦中・3年)

今年の夏休みの終りに近づいた八月二十日、母と共にお寺へ行き、遣りょうを流しました。九十歳で世を去った祖父のために、

祖父は、「元気のいいおじいさん」と、近所でも評判の人でした。しかし、昨年の五月後半頃に体調をくずし、今年四月に亡くなったのです。葬式は、悲し暇もない程あ

わだかしく終わってしまいました。ただ、ぼんやりとした私の記憶には、祖父を病院へやらす家で面倒を見ると言った気丈な母が泣いていた姿だけがはつきり浮かんできます。それから五ヶ月たった今、

これは、思ったより大変なことでした。母が祖父の看護をする分、今まで母がやっていた仕事を、私と父が手伝わなければならなくなりました。最初は、私も協力して家事を手伝いました。しかし、だんだん私が、いいえ家族祖父の犠牲になっているような苦痛を覚えてきたのです。その原因の一つは、誰かが祖父に付き添っていないならばならぬので、家族そろって外出することができなくなったことでした。仕方ないことだとわかっていて、友達や家族で遊びに行った話を聞くと、とてもうらやましく思いました。自分だけが損をしているような気がしました。それから、家族で家の仕事を分担し

祖父

防犯弁論大会

金木地区個人第二位
祖父の思い出を胸に

金木警察署管内七つの中学校による「防犯弁論大会」が、九月十六日、金木南中学校で開催され、市浦中学校代表の相澤公美さん(三年)が、個人第一位に輝きました。また、九月二十六日開かれた青森県大会では、金木地区代表として参加、個人第四位に入賞しました。

病気の祖父の世話をする。

これは、思ったより大変なことでした。母が祖父の看護をする分、今まで母がやっていた仕事を、私と父が手伝わなければならなくなりました。

最初は、私も協力して家事を手伝いました。しかし、だんだん私が、いいえ家族祖父の犠牲になっているような苦痛を覚えてきたのです。その原因の一つは、誰かが祖父に付き添っていないならばならぬので、家族そろって外出することができなくなったことでした。仕方ないことだとわかっていて、友達や家族で遊びに行った話を聞くと、とてもうらやましく思いました。自分だけが損をしているような気がしました。それから、家族で家の仕事を分担し

なければならなくなりました。これは、思ったより大変なことでした。母が祖父の看護をする分、今まで母がやっていた仕事を、私と父が手伝わなければならなくなりました。

最初は、私も協力して家事を手伝いました。しかし、だんだん私が、いいえ家族祖父の犠牲になっているような苦痛を覚えてきたのです。その原因の一つは、誰かが祖父に付き添っていないならばならぬので、家族そろって外出することができなくなったことでした。仕方ないことだとわかっていて、友達や家族で遊びに行った話を聞くと、とてもうらやましく思いました。自分だけが損をしているような気がしました。それから、家族で家の仕事を分担し

なければならなくなりました。これは、思ったより大変なことでした。母が祖父の看護をする分、今まで母がやっていた仕事を、私と父が手伝わなければならなくなりました。

最初は、私も協力して家事を手伝いました。しかし、だんだん私が、いいえ家族祖父の犠牲になっているような苦痛を覚えてきたのです。その原因の一つは、誰かが祖父に付き添っていないならばならぬので、家族そろって外出することができなくなったことでした。仕方ないことだとわかっていて、友達や家族で遊びに行った話を聞くと、とてもうらやましく思いました。自分だけが損をしているような気がしました。それから、家族で家の仕事を分担し

なければならなくなりました。これは、思ったより大変なことでした。母が祖父の看護をする分、今まで母がやっていた仕事を、私と父が手伝わなければならなくなりました。

なければならなくなりました。これは、思ったより大変なことでした。母が祖父の看護をする分、今まで母がやっていた仕事を、私と父が手伝わなければならなくなりました。

最初は、私も協力して家事を手伝いました。しかし、だんだん私が、いいえ家族祖父の犠牲になっているような苦痛を覚えてきたのです。その原因の一つは、誰かが祖父に付き添っていないならばならぬので、家族そろって外出することができなくなったことでした。仕方ないことだとわかっていて、友達や家族で遊びに行った話を聞くと、とてもうらやましく思いました。自分だけが損をしているような気がしました。それから、家族で家の仕事を分担し

なければならなくなりました。これは、思ったより大変なことでした。母が祖父の看護をする分、今まで母がやっていた仕事を、私と父が手伝わなければならなくなりました。

最初は、私も協力して家事を手伝いました。しかし、だんだん私が、いいえ家族祖父の犠牲になっているような苦痛を覚えてきたのです。その原因の一つは、誰かが祖父に付き添っていないならばならぬので、家族そろって外出することができなくなったことでした。仕方ないことだとわかっていて、友達や家族で遊びに行った話を聞くと、とてもうらやましく思いました。自分だけが損をしているような気がしました。それから、家族で家の仕事を分担し

なければならなくなりました。これは、思ったより大変なことでした。母が祖父の看護をする分、今まで母がやっていた仕事を、私と父が手伝わなければならなくなりました。

最初は、私も協力して家事を手伝いました。しかし、だんだん私が、いいえ家族祖父の犠牲になっているような苦痛を覚えてきたのです。その原因の一つは、誰かが祖父に付き添っていないならばならぬので、家族そろって外出することができなくなったことでした。仕方ないことだとわかっていて、友達や家族で遊びに行った話を聞くと、とてもうらやましく思いました。自分だけが損をしているような気がしました。それから、家族で家の仕事を分担し

なければならなくなりました。これは、思ったより大変なことでした。母が祖父の看護をする分、今まで母がやっていた仕事を、私と父が手伝わなければならなくなりました。

最初は、私も協力して家事を手伝いました。しかし、だんだん私が、いいえ家族祖父の犠牲になっているような苦痛を覚えてきたのです。その原因の一つは、誰かが祖父に付き添っていないならばならぬので、家族そろって外出することができなくなったことでした。仕方ないことだとわかっていて、友達や家族で遊びに行った話を聞くと、とてもうらやましく思いました。自分だけが損をしているような気がしました。それから、家族で家の仕事を分担し

なければならなくなりました。これは、思ったより大変なことでした。母が祖父の看護をする分、今まで母がやっていた仕事を、私と父が手伝わなければならなくなりました。

「お母さんのお父さんは、遠く離れてくらしていったので満足に面倒みあげることができなくなったら、おじいちゃんを本当のお父さんと思って死ぬまで面倒見てあげたいんだよ」

と、ぼつりと言ったのです。血のつながりがない祖父の世話をする母の言葉にはっとしました。祖父は、家族の一員です。いつのまにか私は祖父をまるではれ物にさわるかのように扱ってきたことに気づいたのでした。祖父が元気だったころ私に色々な話を話してくれたら一緒に突っ突いた事などです。祖父の優しさが身にしみ

いたのでした。祖父が元気だったころ私に色々な話を話してくれたら一緒に突っ突いた事などです。祖父の優しさが身にしみ

いたのでした。祖父が元気だったころ私に色々な話を話してくれたら一緒に突っ突いた事などです。祖父の優しさが身にしみ

いたのでした。祖父が元気だったころ私に色々な話を話してくれたら一緒に突っ突いた事などです。祖父の優しさが身にしみ

いたのでした。祖父が元気だったころ私に色々な話を話してくれたら一緒に突っ突いた事などです。祖父の優しさが身にしみ

いたのでした。祖父が元気だったころ私に色々な話を話してくれたら一緒に突っ突いた事などです。祖父の優しさが身にしみ

いたのでした。祖父が元気だったころ私に色々な話を話してくれたら一緒に突っ突いた事などです。祖父の優しさが身にしみ

いたのでした。祖父が元気だったころ私に色々な話を話してくれたら一緒に突っ突いた事などです。祖父の優しさが身にしみ

いたのでした。祖父が元気だったころ私に色々な話を話してくれたら一緒に突っ突いた事などです。祖父の優しさが身にしみ

いたのでした。祖父が元気だったころ私に色々な話を話してくれたら一緒に突っ突いた事などです。祖父の優しさが身にしみ

いつも体を動かしていました。今日の仕事を明日に延ばすことをしない人でした。雨が降りしきる中、家族が止めるのも聞かず、外で木を切ったり畑仕事をしていたこともありません。明治生まれのせいでしょうか。とても頑固でも一度言ったことは何があっても取り消しません。その上、弁解をしないので、人づきあいがあまりうまくなりませんでした。その祖父が、死ぬ前に母を呼び、今までの頑固で家族を困らせたことをわびたそうです。そして、私や姉の勉強の事、

今までのお礼を言ったそうです。祖父の優しさが身にしみ

いたのでした。祖父が元気だったころ私に色々な話を話してくれたら一緒に突っ突いた事などです。祖父の優しさが身にしみ

いたのでした。祖父が元気だったころ私に色々な話を話してくれたら一緒に突っ突いた事などです。祖父の優しさが身にしみ

いたのでした。祖父が元気だったころ私に色々な話を話してくれたら一緒に突っ突いた事などです。祖父の優しさが身にしみ

いたのでした。祖父が元気だったころ私に色々な話を話してくれたら一緒に突っ突いた事などです。祖父の優しさが身にしみ

いたのでした。祖父が元気だったころ私に色々な話を話してくれたら一緒に突っ突いた事などです。祖父の優しさが身にしみ

いたのでした。祖父が元気だったころ私に色々な話を話してくれたら一緒に突っ突いた事などです。祖父の優しさが身にしみ

いたのでした。祖父が元気だったころ私に色々な話を話してくれたら一緒に突っ突いた事などです。祖父の優しさが身にしみ

いたのでした。祖父が元気だったころ私に色々な話を話してくれたら一緒に突っ突いた事などです。祖父の優しさが身にしみ

いたのでした。祖父が元気だったころ私に色々な話を話してくれたら一緒に突っ突いた事などです。祖父の優しさが身にしみ

65歳以上の高齢者612人

村全体の16%

高齢化社会の対策急務

九月十五日は「敬老の日」。村では今年も長寿寄付を作成し、長い間社会に貢献してきたお年寄りを顕彰することにしました。

村が長寿寄付を作成した十一年前には、八十歳以上のお年寄りの数は六十八人以上が、今年の番付では百二十二人で五十二人も増え、人生八十

年時代が定着しつつあります。その中で、一人暮らしが八十四人、二人暮らしは五十七組もあり、人生の先輩の長寿を祝うと同時に、今後の高齢化社会対策が急務となりそうです。

九月一日現在の調べでは、六十五歳以上の高齢者が六百十二人、男性三百八人、女性三百四人で、全体の十六・一%を占めています。

65歳以上の地区別人口

昭和63年9月1日現在

区分	総数	65才-69才	70才-74才	75才-79才	80才-84才	85才-	ひとり暮らし	2人暮らし
1,435人	381	73	69	50	16	36	6	10
相模地区	313	69	40	34	32	16	20	14
367世帯								
83人	11	10	4	7	5	1	1	0
桂川地区	24	13	10	6	3	2	1	3
30世帯								
330人	37	17	15	9	9	2	2	1
太田地区	50	23	17	7	9	4	6	4
91世帯								
428人	24	15	10	10	4	2	2	3
磯根地区	64	42	10	5	19	12	8	6
137世帯								
624人	44	43	19	30	11	7	5	2
福元地区	130	86	30	24	28	21	10	15
204世帯								
919人	81	48	28	48	30	13	18	8
十三地区	163	102	48	38	37	34	18	12
264世帯								
合計	612	336	202	87	109	63	46	17
	374	202	136	75	106	52	30	14

敬老会

いつまでも長生きを

白寿第1号 山田弥一さん

市浦村の敬老会は、九月十五日の「敬老の日」午前十時から村コミュニティセンターで開かれました。

今年も、村、村社会福祉協議会、赤十字奉仕団が共催し、七十歳以上の対象者四百二十二人のうち、約二百五十人のお年寄りが出席しました。

敬老会では、主催者を代表して、赤十字奉仕団の有馬正年副委員長が開会のあいさつをしたあと、去る八月五日開



▲米寿を迎えた今儀作さんは妻イマさんとともに敬老会に出席
敬老会では約二五〇人のお年寄りがお祝いを受けました

催した県老人福祉大会での県知事顕彰状が、三重貢村長から、戸崎チヨ子さん(相内)、山田き江さん(福元)、秋田谷谷二さん(桂川)、小山内そとさん(十三)に、伝達されました。

続いて、三重村長、工藤武則村議会議長、青山又一村社会福祉協議会会長らが「戦前、戦後の苦難の時代を生きぬいてこられた貴重な経験を、豊かな地域社会の形成に役立て、

いつまでも健康で、人生八十年代をエンジョイしてください」と、お祝いのご言葉を述べました。

この後、三和孝徳市浦郵便局長が、白寿(99歳)を迎えた福元地区の山田弥一さん、米寿を迎えた小山重吉さん、福島雷太郎さん(以上十三)、山田キヨ子さん(福元)、今ハシメタさん、藤田はつさん、和嶋ミワさん、大川ジュンさん(以上磯根)、工藤サナさん、

今儀作さん、山田ミエさん、寺谷武雄さん(以上相内)、秋田谷フヨ子さん(桂川)の十二人に、郵便省からの記念品を伝達しました。

午後からは、地区婦人団体による民謡、手踊り、カラオケなどのアトラクションが行われ、集まったお年寄りたちは、赤十字奉仕団が準備したお弁当を囲みながら、楽しい一日を過ごしていました。

市浦村長寿番付

東方

氏名	年齢	生年月日	地区
横大 綱関 山田 弥一	97	M23. 9.16	脇元
綱関 田田 和長	94	26. 9.23	十三
綱関 奈良	93	27.10.24	太田
関 脇 戸崎 チヨ	90	30.11.27	相内
小 結 成山 田タ	89	31. 9.30	脇元
前頭1 藤 田藤	88	33. 6.27	脇元
2 今山 田儀	87	33. 9. 9	相内
3 山和 田儀	87	34. 3.20	相内
4 大奈 田儀	87	34. 6. 1	相内
5 奈村 田儀	86	34.11.11	磯松
6 松本 田儀	86	34.12.23	太田
7 後葛 田儀	86	35. 2. 8	磯松
8 葛奈 田儀	86	35. 4.20	太田
9 有八 田儀	86	35. 6.10	磯松
10 奈中 田儀	86	35. 7.27	磯松
十面 1 中吉 田儀	85	35. 8.25	十三
2 山成 田儀	85	35.10. 4	磯松
3 山成 田儀	85	35.12. 2	脇元
4 山成 田儀	85	36. 3.17	相内
5 山成 田儀	85	36. 5.13	脇元
6 山成 田儀	85	36. 5.23	太田
7 山成 田儀	84	36. 8.29	太田
8 山成 田儀	84	37. 1.15	十三
9 山成 田儀	84	37. 2.15	十三
10 山成 田儀	84	37. 3.15	磯松
11 山成 田儀	84	37. 4. 5	相内
12 山成 田儀	84	37. 5. 1	脇元
13 山成 田儀	83	37.10.10	脇元
14 山成 田儀	83	38. 1. 4	脇元
15 山成 田儀	83	38. 5.10	相内
16 山成 田儀	83	38. 5.29	脇元
17 山成 田儀	83	38. 8.29	磯松
18 山成 田儀	82	38. 9. 5	十三
19 山成 田儀	82	38.10.11	相内
20 山成 田儀	82	38.10.12	相内
21 山成 田儀	82	38.11. 5	相内
22 山成 田儀	82	39. 2. 8	脇元
23 山成 田儀	82	39. 2.23	十三
24 山成 田儀	81	39. 8.20	磯松
25 山成 田儀	81	39. 9. 5	十三
26 山成 田儀	81	39.10. 7	相内
27 山成 田儀	81	39.11.24	相内
28 山成 田儀	81	39.12. 8	脇元
29 山成 田儀	81	40. 3.30	磯松
30 山成 田儀	81	40. 5.25	相内
31 山成 田儀	81	40. 7. 5	磯松
32 山成 田儀	81	40. 9. 7	磯松
33 山成 田儀	80	40. 9.25	脇元
34 山成 田儀	80	40.11.15	太田
35 山成 田儀	80	40.11.25	太田
36 山成 田儀	80	40.11.30	太田
37 山成 田儀	80	40.11.30	太田
38 山成 田儀	80	41. 1.21	相内
39 山成 田儀	80	41. 2. 3	十三
40 山成 田儀	80	41. 3.20	十三
41 山成 田儀	80	41. 4.20	太田
42 山成 田儀	80	41. 5. 4	太田
山成 田儀	80	41. 6.28	太田
山成 田儀	80	41. 7.15	相内

蒙御免

(昭和六十三年九月一日現在で)

満八十歳以上の人を対象

勲進元 市浦村役場

西方

氏名	年齢	生年月日	地区
横大 綱関 葛西	96	M24.11.23	磯松
綱関 藤川	94	27. 7. 2	相内
綱関 秋山	93	27.11.10	相内
綱関 山田	90	30.11.10	桂川
綱関 山田	90	31. 3. 8	脇元
小 結 小福	88	33. 3. 4	十三
前頭1 藤 山島	88	33. 9. 1	十三
2 藤 山島	87	34. 1. 3	磯松
3 藤 山島	87	34. 3.28	磯松
4 藤 山島	87	34. 6.27	相内
5 藤 山島	86	34.12. 8	相内
6 藤 山島	86	35. 1.20	相内
7 藤 山島	86	35. 2.20	相内
8 藤 山島	86	35. 5.24	相内
9 藤 山島	86	35. 7.15	相内
10 藤 山島	86	35. 8. 8	磯松
十面 1 谷藤	85	35.10.15	脇元
2 谷藤	85	35.12.28	脇元
3 谷藤	85	36. 5. 4	十三
4 谷藤	85	36. 5.15	十三
5 谷藤	85	36. 8. 1	松
6 谷藤	84	37. 1. 1	相内
7 谷藤	84	37. 1.27	十三
8 谷藤	84	37. 2.18	脇元
9 谷藤	84	37. 3.25	十三
10 谷藤	84	37. 4. 9	脇元
11 谷藤	84	37. 5.30	相内
12 谷藤	83	37.10.27	相内
13 谷藤	83	38. 4. 4	相内
14 谷藤	83	38. 5.24	太田
15 谷藤	83	38. 8.25	十三
16 谷藤	82	38. 9. 3	脇元
17 谷藤	82	38.10.12	磯松
18 谷藤	82	38.11. 1	脇元
19 谷藤	82	38.11.29	磯松
20 谷藤	82	39. 2.18	脇元
21 谷藤	82	39. 8. 5	相内
22 谷藤	82	39. 8.28	相内
23 谷藤	81	39. 9.20	相内
24 谷藤	81	39.10.29	脇元
25 谷藤	81	39.12. 8	脇元
26 谷藤	81	40. 1. 7	桂川
27 谷藤	81	40. 5. 5	相内
28 谷藤	81	40. 7. 1	相内
29 谷藤	81	40. 8. 1	十三
30 谷藤	80	40. 9.22	太田
31 谷藤	80	40.10. 1	十三
32 谷藤	80	40.11.24	相内
33 谷藤	80	40.11.27	脇元
34 谷藤	80	41. 1. 5	太田
35 谷藤	80	41. 2. 1	脇元
36 谷藤	80	41. 2.20	十三
37 谷藤	80	41. 4. 5	脇元
38 谷藤	80	41. 4.27	十三
39 谷藤	80	41. 5.27	十三
40 谷藤	80	41. 7. 5	相内
41 谷藤	80	41. 8.19	脇元
42 谷藤	80		

(敬称を略します)

安藤氏の歴史

▶ 4 ◀

安藤氏の先祖

中島信房

安藤氏の慰霊祭

昭和六十一年に、福島県田村郡三春町主催で、同町の龍徳院という安藤氏の菩提寺において、安藤氏現当主秋田一季様(東京都豊島区)をお迎えして、安藤氏の慰霊祭が壮厳なる説経で行な



秋田一季様
(「安東・秋田展」より)

われました。
昭和五十七年、秋田市土崎藩の善願寺(安藤氏開基のお寺)に続いての第二回目の慰霊祭でした。
両寺ともに参会者数約五百名を越えるという盛大なものでした。安藤氏の血縁者はもちろん、北海道・青森県・秋田県・福島県等の関係市町村の当局者、安藤氏の研究者たちのご来賓が絶えず間なく続いたものでした。

安藤氏の「ふるさと」市浦村が挙げた細ほそした狼煙が、今や北は北海道から南は九州までと電波のごとく伝わっており、安藤氏が行なわれつつあること、まことに感慨無量なものがあつた。

さて、第二回目の慰霊祭が行なわれた三春町の龍徳院の安藤氏墓地に隣接して、浪岡家の墓陣數十基が建てられていて、訪問者の眼を強く引きます。

浪岡氏とは

浪岡氏といえますと、現南津軽郡浪岡町に居船し、浪岡御所と呼ばれた北畠氏のことです。天正六年(一五七八、天正十八年説もあり)ます、津軽が信に攻められて落城した北畠頼村の弟に、左近頼範という勇士がいましたが、この方が秋田

方面に亡命(のがれる)したのかも知れません。その後裔が秋田安藤家の客分となり、後に秋田安藤家の家老職を勤めたという事です。北畠親房の血を引く各家であつて、津軽に居船してからも御所と呼ばれていました。津軽没落の後「浪岡」姓を名乗つたものでしょうか。津軽十三湊安藤氏とは姻縁関係にあつた家です。

浪岡具雄氏のお話

その流れを承けた方、浪岡具雄という人がいられて、安倍安藤氏の先祖が「安日彦」であることを、秋田家でも固く信じていたということ、東北大学講師をなされた喜田貞吉博士にお話されたことが、博士の記録に遺されています。昭和三十年ころのお話です。

それによりますと、十三湊安藤氏の後裔である秋田明季が三春の城において、明治維新を迎え、明治十七年(一八八四)子爵に叙せられました。たぶん、その前になるのでしようが、宮内省へ系図を差し出した時、

孝元天皇「大皇古命」建沼河別命と皇孫安倍姓の祖を挙げ、その次に、それと並べて安日王・長徳彦が書かれていた秋田家系図を差し出したのです。

この意味

このお話の意味するところは、十三湊安藤氏の後裔秋田家では、その昔(後は秋田家では)その昔(後は秋田家では)だんだんわかつてきます。今は省略、先祖が功績によつて、安倍姓をもつたので、天皇の系統の大皇古(天彦)と書く命を書いたの叔父さんで、後見役を勤めていた秋田主税という人で、その主税の答えは、「当秋田は、姓を頂戴して安倍を名乗つたのです。だから、安倍姓である祖系を先に掲げておいたまでで、これは秋田家年来の記録に就つたものです」といったことなのです。

宮内省でも突つただけで系図を納められたそうです。そして、主税が邸に帰られ、映季様にありのまま申し上げて来たので、具雄のお父さんに物語つたのです。具雄がなくなつた(昭和三年頃)お父さんから、このお話を聞いたまま喜田博士に系図を宮内省に差し出

した時の様子を知らせたというのです。
この意味
このお話の意味するところは、十三湊安藤氏の後裔秋田家では、その昔(後は秋田家では)だんだんわかつてきます。今は省略、先祖が功績によつて、安倍姓をもつたので、天皇の系統の大皇古(天彦)と書く命を書いたの叔父さんで、後見役を勤めていた秋田主税という人で、その主税の答えは、「当秋田は、姓を頂戴して安倍を名乗つたのです。だから、安倍姓である祖系を先に掲げておいたまでで、これは秋田家年来の記録に就つたものです」といったことなのです。

お写真

上に掲げたお写真は現当主秋田一季様です。東北帝国大学を御卒業なされ、宮中御歌会の諸役を拝命なされたり、学習院評議員も勤められたりしておられます。今後、市浦村をおたがひ御訪問下さると思ひますので、よくご覧になつて覚えておいて下さい。不敬をお許し願ひます。

情報をお寄せください

おしらせ



役場の電話は62-2111

痴呆疾患予防講習会のお知らせ

◆日時 昭和63年11月18日(金)
13:10~15:30

◆場所 五所川原市中央公民館

◆プログラム

①映画「白い記憶の世界」

②講演「痴呆の成因及び予防」

講師 梶立つしが丘病院
医務局長

立山 興 医師

③質疑応答

◆対象 一般(どなたでも受けられます。)

◆その他 受講料は無料です。受講する方は、五所川原保健所(T.E.L0173-34-2108、2109)にお申し込みください。

申し込み締め切り日は、10月28日です。

暮らしの中で行政サービスに対する意見・苦情・要望はありませんか

皆さんのなかには、日常生活において、役所や公団等が行っている仕事について、苦情や要望・意見などをお持ちの方が多いのではないのでしょうか。

総務庁の行政監察局が行っている行政相談とは、皆さんと役所等の間に立って、公平・中立な第三者的立場からあっせんを行い、その解決を促進するとともに、皆さんの声を行政運営の改善に役立てるものです。

相談は口頭、電話、手紙いずれでも結構です。また、匿名の取り扱ひもできます。なお、相談は無料です。

特設行政相談所の開設(無料) (秘密厳守)

行政サービスの改善を求める苦情、意見、要望や役所の仕事について、納得いかないこと、困っていることなどがありましたらどんなことでも結構ですから、お気軽にお申し出下さい。

たとえば

○道路や窓口の案内標識の整備、申請書類等の平易化、職員の機

動配置、待ち時間の表示、輸送機関相互の接続時間の調整、待

合室・ガード下等を明るく清潔に、窓口等における親切な接遇、

点字ブロックの改善・危険箇所の点検など身体障害者や高齢者へ

の配慮、病院等の早すぎる夕食時刻の繰り下げ、禁煙コーナーの設置など行政サービスの改善に関するもの

○役所、公社等への手続きで困っている

○道路や側溝が破損したり、交通安全施設がなくて危険である

○登記、国土調査、農地、年金等のことで困っている 等



すこやか日記
秋田谷 浩さん(桂川)
長女 舞衣ちゃん(三歳)
わたし、はずかしがりやなのでも、はいくよではたのしくすごしています。

県税事務所からのお知らせ…農業用免税軽油

昭和64年に使用する免税証の交付申請書を次により受け付けします。

◆場所 五所川原市栄町10
青森県五所川原合同庁舎
1階 相談室

◆日時 昭和63年11月14日
午前9時~午後3時

◆申請用紙 県税事務所、農業協同組合及び軽油販売店にあります。

詳しくは五所川原県税事務所 問税課へ

電話34-2111 内線207.208

出かせぎに行かれるみなさんへ

1. 出稼就労前に検診を受けましょう。
 - 市浦村診療所で行っています。
 - 出稼手帳と一部負担金1,500円を持参して下さい。
 2. 出稼労働者事故見舞金制度に加入しましょう。
 - 就労先での事故、または留守宅が火災にあったときに見舞金を給付する制度です。
 - 掛金は、年間600円です。(受付は役場で行っています。)
- ※詳しくは、役場民生課にお問合せ下さい。

活動事項等区分	定例相談	特設(巡回)相談	各種委員連絡協議会	行政相談委員
10月16日	10/10(水) 10:00~16:00	10/17(月)~18(火) 10:00~16:00	10/21(金) 10:00~16:00	氏名 白川行雄 住所 市浦村大字相内 電話 62-2788番
10月22日	市浦村役場(小会議室)	十三公民館 太田生活センター	脇元公民館	人権委員と 合同
備考	全 村	十三・太田地区		



新しく配置された救急車

市浦消防署に新しい救急車を配置 三回目の更新

財団法人日本消防協会(会長笹川良一)から、市浦消防署へ「署長佐藤善也」に新しい救急車が寄贈されました。八月二十六日、秋田県河辺郡雄和町で行われた交付式には、三重寅村長、佐藤署長が出席、車種「トッサン・キャラバン」を受領しました。救急車の更新は今回が三回目ですが、消防署では今後も地域住民の要望に応えるために、より安全で充実した救急業務を行うことにしています。



脳卒中調査、その後

コレステロールとは...

食を食べずには受診してください
 のようお願いいたします。

コレステロール 値が高いと いわれたら

いわれたら

ただ悪玉コレステロールが増えていると考えられます。そこでコレステロールを調節するには、善玉を増やし、悪玉を減らす食生活がポイントになります。

食生活改善の ポイントは

総コレステロール値は、血液検査でわかります。コレステロール値が高い状態が続くと、血液中のコレステロールが血管の壁に沈着し、動脈硬化を促進します。又、コレステロールには、動脈の血管壁にたまり、動脈硬化を促進する悪玉と、その悪玉を血管壁から運び去る善玉があります。



中性脂肪値が 高いといわれたら

中性脂肪は、肥満者、大酒

飲み、大食をする人などでは



肝機能(GOT・GPT) に異常があると いわれたら

GOT・GPTは、肝炎などにかかると、肝細胞がこわれたりして血液中に流出し、値が高くなります。この検査は感度がとても高く、肝臓の異常を敏感にキャッチしてくれます。「沈黙の臓器」といわれる肝臓には、知覚神経がなく痛みを訴えることがありません。そのうえ、肝臓はがん強くても症状として現れてきません。異常があると指摘されたら指示を忠実に守るようにしましょう。

戸籍の窓

お誕生

- 澤田 彩夏(磯松) 孝 範
- 葛西 雅子(脇内) 敏 彦
- 工藤 史枝(相内) 忠 治
- 近藤 夏未(桂川) 圭 人
- 近藤 憲(十三) 秀 生
- 岡本 元気(磯松) 強
- 葛西みなみ(磯元) 寛
- 本莊 信(十三) 信太郎
- 吉田 亮(相内) 勇 二



ご結婚

- 長利 寅三郎(太田) 73歳
- 三浦 ソヨ(相内) 78歳
- 沼田 イマ(脇元) 89歳
- 濱田 穆(十三) 63歳

おくやみ

- 三和 不二義(相内)
- 木村 江里子(東京)
- 伊藤 祥明(車方)
- 佐藤 祥子(相内)
- 村山 明(相内)
- 成田 雪栄子(小泊)
- 山本 義武(岐阜)
- 小倉 典子(十三)
- 嘉瀬 義彦(青森)
- 三和 範子(相内)
- 横山 博樹(十三)
- 寺田 千加子(鶴田)
- 佐々木 長大(相内)
- 須貝 佳子(北海道)
- 相澤 圭一(磯松)
- 細田 久美子(東京)

二人(に)は(赤)ちゃん
 伊南 徹さん(磯松)
 2男 謙ちゃん(5ヵ月)
 いつもはとてもあいきょうが
 いいんだけど、いま、目がさめたところなの!

